

研究のアウトプットと社会のニーズとの架け橋

北林理沙 (株式会社Photonic System Solutions 取締役 事業部長/
電気通信大学 客員研究員)

仕事の醍醐味について

私は大学卒業後、結婚、出産を経て、アパレル企業へ就職しました。入社時は生産管理システムの開発・管理を任されていたが、事業が拡大するにたがって、経理から商品発注、販売促進、商品企画などほとんどの業務を経験しました。1店舗から始まったブランドは8年後には日本全国47店舗まで拡大し、1人では決してなれないことが気持ちをひとつにしたメンバーの協力があれば、かなえられるというすばらしい経験をすることができました。

現在は日本女子大学の学術研究員として、研究の場に復帰している傍ら、株式会社Photonic System Solutionsの事業部門を担当しています。大学で研究開発された技術を社会に還元できるよう、日々クライアントの方のニーズに耳を傾けています。理系出身であり、起業に関わったという経験を活かせる仕事に就くことができ、また、すばらしくバフフルな女性に囲まれて、刺激的な毎日を送っています。

仕事と家庭のバランスについて

主人と私は、お互い比較的若くして結婚したので、「巻き込み型子育て」をしようと決め、無理をせず等身大で子育てをしています。どうしても仕事を家庭に持ち込むことがあります。その時は子供たちや主人にも仕事のことを聞いてもらい、時にはアドバイスももらっています。そのときの約束事は、相談は受け付けるけど、愚痴は受け付けないということです。好きでやっている仕事で愚痴を言うのはいい見本とはいえませんから。「巻き込み型子育て」のお陰か、子供たちは、一人ひとりが家族という船の乗組員で、大きな役割を担っているかのように感じているようです。

私の進路決定のきっかけ

私は中高一貫の女子校に帰国子女として入学しました。私同様、海外経験のある友達が多く、そのほとんどは語学を活かして文系への進路を目指しました。私はそんな中でも、理系以外の進路を考えたことがまったくなかったのは、私の父が理系であったということが非常に大きく影響していたように思います。父はメーカーに勤め、開発にかかわった製品のサンプルを私によく見せてくれました。時代の最先端の製品に触れ、理系の魅力に取り付かれたのでしよう。幸い私は父とまったく同じ大学学部学科に入学することができ、今でも仕事のアドバイスをもらっています。

進路選択についてのメッセージ

父の仕事の都合で9歳から11歳をアメリカで過ごしました。非常に好奇心旺盛な私を見て、現地校の先生は“You're like sponge”と称してくれました。その言葉通り、日々訪れる様々な出来事を素直に受け入れ、興味のあることを最大限吸収しよう心がけたことが、今日につながっていると痛感します。一見遠回りをしたと思うことも無駄なこととはひとつもない、いやひとつも無駄にしないという心がけで、毎日がハッピーになると思います。

海外留学・勤務を通じて得たこと・得したこと

私は、小学校4年～小学校6年の2年間をアメリカのニュージャージーで生活しました。父の海外赴任に伴って、得たチャンスでした。両親が現地校への入学の手続きを進めてくれたおかげで、渡米して1週間後には、ほぼ24時間英語の生活に変わりました(家でも両親が英語でしゃべるような環境にしてくれたため)。子供の順応性には、自分でも驚かされ、3ヶ月後には意味を理解し、4ヶ月後には自由に喋っていたことを覚えています。海外生活で語学力を得たことに加えて、今の私の力にもなっているのは、物怖じしない性格を養えたことだと思います。また、自分の意見をしっかり相手に伝えることの大切さも学びました。決して言葉だけが伝える手段ではないことも、身を持って体験できました。仕事をしていく上で大切なことだと思いますし、子育てしていく上でも子供たちにしっかり自分の意見を相手に伝えられる人になってほしいと自分の体験談を交えて、説得力を持って伝えることができていると感じます。

海外留学・勤務を決めたきっかけについて

アパレル勤務時には、子育てをしながら、年に10回以上の海外出張を経験しました。まだ子供が小さい時ではありましたが、後押しになったのは、幼少の時に海外で培った語学力と、海外出張での体験で得るグローバルな考え方が子育てに活かせると思ったからです。

滞在先の思い出・生活者としての体験

私が滞在了New JerseyのHillsdaleという地域は、New Yorkに近いところでありながら、田舎の雰囲気を持つ街でした。広い庭に、滑車付のブランコやデッキを父が作り、日々ピクニックのような雰囲気を味わっていました。また、月に1回程度、メーカー勤務の父の仕事場に遊びに行き、日本人、外国人が入り混じり、英語でビジネス議論をしている大人を見ることができたこともかけがえのない体験となっています。

<北林理沙(きたばやしりさ)プロフィール>

頌栄女子学院中学・高校 → 早稲田大学理工学部応用物理学科 → 株式会社ヴェント・インターナショナル入社 女性ブランド「LIZLISA」の展開に従事 → 日本女子大学 学術研究員 および 株式会社Photonic System Solutions 事業部長 → 現職
現在、2児の母。大学サークルの友人と結成した「夢望の会」(夢を追いかけて無謀なことに挑戦する会)会長。

